

# 会 議 録

## 1 会議名

令和7年度 第5回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 自主的な審議（公開）

○自主的な審議で取り組むテーマについて

## 3 開催日時

令和7年10月29日（水）午後6時30分から午後7時25分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

0名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村会長、新保副会長、太田委員、小川委員、上村委員、滝本委員、西巻委員、橋本委員、船木委員、望月委員、吉越委員、渡辺委員  
(委員14人中12人出席)
- ・事務局：頸城区総合事務所風間所長、渡邊次長、佐藤教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、加茂川主任

## 8 発言の内容

### 【渡邊次長】

- ・会議の開催を宣言

### 【上村会長】

- ・挨拶

### 【渡邊次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：滝本委員、西巻委員に依頼

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、会長より議長をお願いする。

**【上村会長】**

次第3 自主的な審議(1)「自主的な審議で取り組むテーマ」について、事務局説明願う。

**【渡辺班長】**

(1)「自主的な審議で取り組むテーマ」について説明

**【上村会長】**

今の説明について意見等ないか。

**【新保副会長】**

事務局の説明のとおり、令和4年度に地域協議会で頸城区の課題を整理して5本の柱を決め、それに基づき各団体が地域独自の予算事業の提案を行っている。各団体が事業を実施することにより課題解決に取り組んでおり、令和7年度は各団体の計画どおりに進んでいると認識している。

自主的審議事項については、頸北4区でもいろいろな内容が審議されているが、頸城区では大きな課題はないように感じている。個人的には令和6年度に地域独自の予算事業として始まった「外国人市民の児童・生徒への学習支援事業」の現状について聞きたいと考えている。令和7年度以降は教育委員会の事業となったためか、現在どのように取り組まれているのかなどの情報が伝わってこない。その辺の話を聞く機会を設けてもらい、地域協議会でサポートできるような課題があるのであれば、できる部分で協力できたらいいと思っている。

**【上村会長】**

新保副会長から話があった学習支援事業は、頸城区だけではなく全市で取り組むべき事業であるとの判断から、地域独自の予算事業から市の事業になった経過がある。新保副会長からは、事業の進捗状況や、問題点がないかという現状を含め検証したらどうかとの発言だが、これについて事務局何かあるか。

**【渡邊次長】**

外国人市民の児童生徒への学習支援事業は、令和6年度の地域独自の予算事業として、わくわくクラブから提案があった事業である。頸城区には外国人市民が多く居住しており、高校進学等への心配があることから、当時の岡村所長とともに事業化に結

び付けた大切な事業であった。わくわくクラブからは令和7年度の地域独自の予算事業の提案をいただいたが、この事業は頸城区だけの問題ではなく全市の問題ということで、最終的に教育委員会の主催事業として、外国人市民の生徒が、将来の夢を叶えることを目的として取り組んでいる。令和7年度は4月から毎週土曜日に実施しており、参加人数は20人。毎回の参加率は生徒の都合等もあり大体半数の10人、少ない日は4、5人の時もある。一時期出席率が低迷していたことがあったが、わくわくクラブから保護者へ高校受験の大切さを説明したこともあり、最近では11人位の参加があり、日本では高校入試があるという認識を持ってもらえていると感じている。

**【上村会長】**

事務局から回答してもらったが、提案団体であるわくわくクラブも事業開始直後は文化の違いや参加費などの件でご苦勞されていたと記憶している。令和7年度は地域独自の予算事業から離れて市の事業となったが、今時点で団体が困っていることはないのか、今後市はどのようにこの事業に取り組んでいくのかくらいは聞いておくことが必要ではないかと思っている。委員の皆さんの合意をいただければ、中間報告のような機会が設けられないかと思っている。

**【船木委員】**

頸城区に居住している外国人市民は日本国籍を取って、日本にずっと住んでいる方が多いのか。

**【渡邊次長】**

現在、頸城区内には約650人の外国人市民が住んでおり、在留資格に応じて家族を連れてくることのできる資格がある。今居住されている方たちは日本国籍を持っていないが、保護者の方は子どもにはずっと日本に住んでほしいとの希望を持っており、要件が揃えば、永住権が認められる可能性はある。

**【船木委員】**

そういうことであれば、外国人市民の子ども達の学習については手助けすることが必要になると思うので、会長、副会長が言われるように意見交換は必要だと思う。

**【上村会長】**

他に意見はないか。わくわくクラブや教育委員会から現状や問題点を聞くことも大事だと思うので、事務局と相談しながら機会を設けたいと思う。

その他に何かないか。

#### 【船木委員】

「子どもが楽しむ場の創出」ということで、最近新しい団体や若い団体が子ども向けのイベントを企画しているが、単発のイベントで終わってしまうことがある。頸城区は幸いなことに公民館があるので、公民館をもう少し活かして子どもと他世代との交流ができないかと考えている。先般、「公民館を拠点とした「まち協」による地域づくり」という講座に参加した。宮城県白石市の公民館の方が講師で、地域の活性化に公民館の活動が上手く活用されているとの話を聞いてきた。公民館事業で基本的な生涯学習の他に、地域の困りごとや、子ども達を集め意見を聞くようなことを実施しており、白石市は文部科学省の「最優秀公民館」を受賞した。講師はすごく明るい話をされていて、もう少し公民館を活用して交流とか出来ないかと思っている。

#### 【上村会長】

事務局、今の意見に対して何かあるか。

#### 【佐藤グループ長】

上越市の場合、公民館は船木委員の発言のとおり生涯学習に重きをおいており、地域の振興は地区振興会がその役割を担っている状況である。地区振興会の役員と公民館の役員が重複している地区、別々の人がその役割を担っている地区もあり、様々である。そのような中で、南川公民館では平日の午後に子ども達が学習できる場を提供している。また、子どもと外国人市民が触れ合う、子どもが学ぶイベント、行事なども積極的に展開しているところである。

#### 【上村会長】

公民館としては子ども達にも積極的に関わっているという事務局からの説明であった。以前、地域協議会でも公民館運営委員の皆さんと意見交換を行ったことがあるが、その時も公民館運営委員も同じ意見であった。地域独自の予算事業で2月にイベントがあったと思うが、事務局説明願う。

#### 【渡辺班長】

2月に、くびきお祭ネットワークの提案事業「くびき冬季フェスティバル」を開催する予定である。この事業は、8月下旬に頸城区内の小・中学生に声をかけ、2月に行う冬季フェスティバルで使うジャンボカルタの作成を行った。頸城の歴史や頸城にまつわる内容で読み札を考え、取り札も自分で作るという内容であった。年間を通して取り組んでいる事業と考えている。また、提案団体は、公民館の利用ということも

考えており、地域の集会場という役割も担っている希望館に、気軽に訪れることができるように会場を希望館にしたとの話も聞いている。

**【上村会長】**

船木委員、他に関連の意見等あれば教えてほしい。

**【船木委員】**

頸城に子どもが残ってほしいとの思いがある。中学生になれば、自分達で子ども同士の交流が図れると思うが、子どもだけでなく世代間、お父さん世代、おじいちゃん、おばあちゃん世代との交流も、子ども達のためになると思う。その接点の一つ足りないとの思いがある。

**【上村会長】**

せっかく子ども達の意見が出たので、関連する意見はないか。

**【滝本委員】**

公民館の話もあったが、教育委員会側では中学生が企画したイベントを実施するなど積極的に取り組んでいる。自分達が企画したものが実際にイベントになるという体験はすごくいいと個人的に思っている。

また、親の世代や高齢者の人達との繋がりが無い中で、それを築いていくのは大変難しいと正直思う。しかし、どこかで接点を作ってあげなければいけないと思う。

現在、頸城の中では新しい事業を取り入れてもらっているのは事実なので、それをもっと伸ばしていったらいいのではないかと思う。

**【上村会長】**

事務局、公民館担当の方から何かあるか。

**【佐藤グループ長】**

頸城の公民館運営委員からは一生懸命やってもらっている。他の区の方から、頸城はこんなに取り組んでいるのかとの言葉も聞いている。各分館でも地域の人と子ども達との交流ということで餅つき大会などを実施している。以前は運動会なども行っていたが、現在の状況で出来る範囲で模索しているところである。

**【上村会長】**

他の区と比べて、頸城区は公民館事業に一生懸命取り組んでいるという話は聞いている。また、子ども達と他世代との交流についても公民館運営委員の皆さんが取り組まれているが、具体的に市民にどう働きかけていくのか難しいことだと思っている。

この問題について他にないか。

他の区の地域協議会の状況もネット等で見るができる。このテーマについては第5回だけで結論を出すことが難しいため継続審議としたい。先程の外国人市民の児童生徒への学習支援事業関係の現状を聞く機会については、近いうちにわくわくクラブと調整してほしい。

次に次第4のその他に入る。

#### 【渡辺班長】

その他について説明

- ・ イベント情報について周知
- ・ 協議会日より編集委員会の開催案内

編集委員は、上村会長、新保副会長、太田委員、小川委員、上村委員

#### 【渡邊次長】

- ・ 次回の第6回地域協議会の開催日程について提案  
令和7年11月19日（水）午後6時30分開催
- ・ なお、外国人市民の児童生徒への学習支援の状況、意見交換については、わくわくクラブとの調整も含め次回の協議会に実施となるか、別途開催とするか調整させていただきたい。

#### 【上村会長】

他になければ、これで令和7年度第5回地域協議会を終了とする。

### 9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212、213）

E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

### 10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。